

川本町観光ガイド

KAWAMOTO GUIDE BOOK



INDEX

川本町のこと P-04

アクセスマップ P-05

川本町の四季 P-06

川本町と三江線 P-08

川本町の見所 P-10

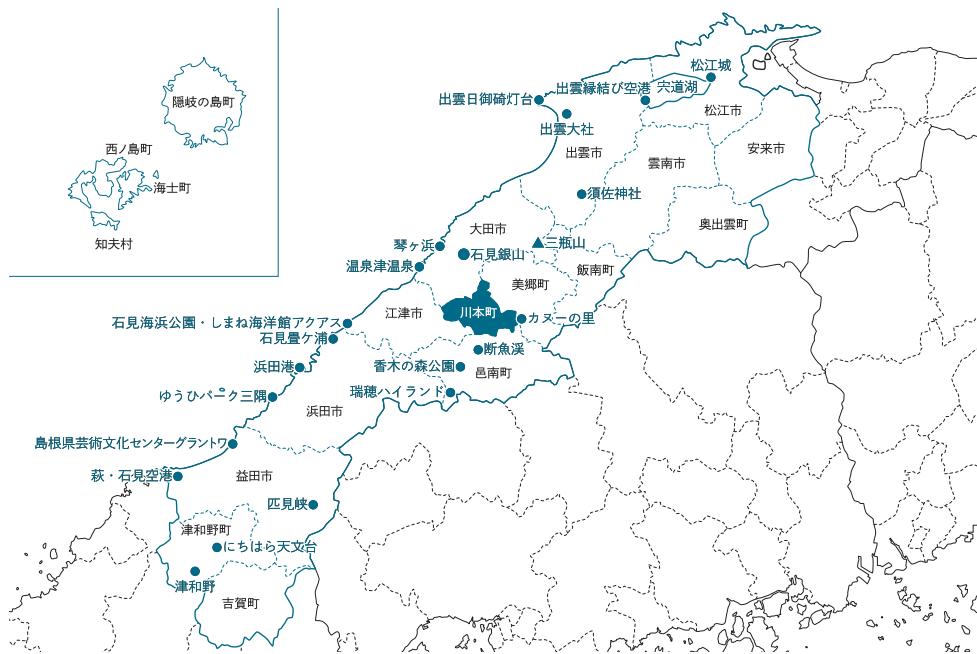
町内散策マップ P-12

川本町での食事 P-14

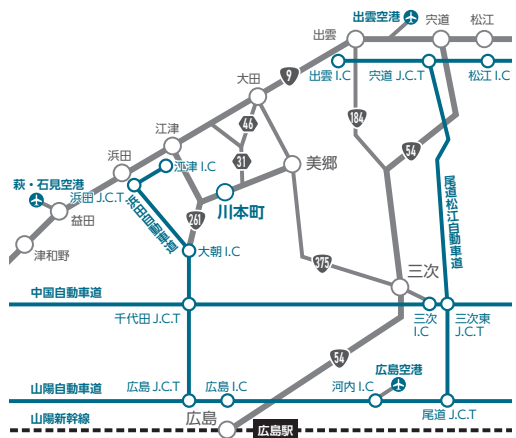
川本町での宿泊 P-20

川本町のお土産 P-22

可憐に咲き乱れる野花のような
素朴な笑顔が迎えてくれる
この町の魅力は、この町に住む人たち
行き交う誰もが挨拶を交わし
通り過ぎる車に道を譲る
表通りを駆け回る子どもたちと
それをやさしく見守る大人たち
かつてはこの国のどこにでもあった
懐かしい記憶の中の風景
有名な観光スポットなんてなくても
ここには大切なものが溢れていて
だからまた、この町を訪れたいくなる
この町の人たちに会いに来たくなる



- 国宝 松江城 約2時間
- 出雲大社 約1時間45分
- 世界遺産 石見銀山 約30分
- 温泉津温泉 約40分
- 琴ヶ浜 約45分
- 国立公園 三瓶山 約40分
- 瑞穂ハイランド 約40分
- 石見海浜公園・しまね海洋館アクアス 約1時間
- 匹見峡 約1時間45分
- 日本遺産 津和野 約2時間30分



- 飛行機
広島空港から車で約2時間
出雲緑結び空港から車で約2時間
萩・石見空港から車で約2時間(羽田発着便)
 - 新幹線
JR広島駅新幹線口から大田行きバス「石見銀山号」で約1時間50分
 - 自動車
浜田自動車道「大朝I.C.」から車で約40分
- 広島・浜田間を結ぶ高速路線バスのほか、関西方面などからは浜田行・出雲行の高速バス(昼行・夜行)が運行されています。

石見銀山の玄関口

島根県川本町は、健康食品であるエゴマの栽培で知られる人口約3,000人の小さな町です。面積の約81%を山林が占める典型的な中山間地域でありながら、町を縦貫する「江の川」の水運により、古くは石見銀山の玄関口として栄え、石見地方の要所、交流の町として発展しました。

島根県の中央に位置し、出雲大社や三瓶山、鳴り砂で知られる琴ヶ浜や温泉津温泉など観光名所へのアクセスも便利です。

緑にこだます音楽の里

吹奏楽が盛んな川本町は、全国でも珍しい音楽をテーマとしたユニークなまちづくりに取り組んでおり、昭和60年に「音楽の町」を宣言。町内に石見地方屈指の音楽ホールを備えた「悠色ふるさと会館」を有し、オーケストラや著名歌手によるコンサートも開催されています。

楽器や音符をモチーフとしたデザインの見板やモニメントが町のあちこちに見られ、音楽への深い愛情を感じることがができます。



昭和レトロな弓市商店街

昭和47年の水害により、甚大な被害を受けた町の中心地である弓市地区には、店や家や失った町民らのためのコンクリート造の建物が立ち並びます。

町が建築した建物には、ナンバリングが施されており、レトロな店並みとともに独特の雰囲気を感じさせています。



一級河川「江の川」

中国大郎の異名を持つ中国地方最大の河川「江の川」は全長約200km。島根県側では「こうがわ」とも称され、広島県北部の阿佐山に水源を発し、中国山地を横切るようにして日本海に注ぎます。古くから山陽・山陰を結ぶ交易の要路とされ、たたら製鉄や石見銀山の発展に伴い舟運も発達しました。

全国第2位の数を誇る支流には、断魚溪や千丈溪など名勝も多く、夏には川遊びや魚釣り、カヌーを楽しむ人々で賑わいます。

浜原ダムの建設により、上流では目にするのがなくなった回遊魚(サケ)の遡上も川本町では見ることがができます。



春の妖精

3月上旬から4月上旬にかけて、茎の先から一輪の可憐な白い花を咲かせ、その愛らしい姿から「春の妖精」と呼ばれるイスモコバイモ。川本町の谷戸地区は、希少な群生地として全国に知られ、開花期には県内外から多くの人々が訪れます。



三原の田園風景

町の中心部から少し離れた三原地区には、古き良き日本の原風景の面影を今に残す、美しい田園風景が広がります。朝晩の寒暖の差が激しくなる春先や秋口には、車で頂上付近まで行くことができる円山の展望台から、一面に広がる雲海を望む絶景を目にすることもできます。



桜並木と山桜

堤防沿いの桜並木と折り重なるように咲く煌びやかな山桜。因原地区では、毎年この時期には提灯が灯され、夜桜を観に来る来訪者を迎えます。場所取りに追われることなく、贅沢にお花見を愉しめるのも魅力です。



山野の紅葉

手つかずの自然が織りなす川本町の秋の情景は、山々を染める色彩が「江の川」の水面に映し取られ、見渡すかぎりの紅葉に包まれます。キャンプやハイキング、サイクリングコースとしても最高のロケーションです。



ホタルと竹灯籠

豊かな自然が残る川本町では、町内のいたるところで野生のホタルを見ることが出来ます。そんな素晴らしい自然環境を後世に伝えたいと、移住者らの発案で始まったのが、田窪の「ホタルまつり」。現在は休止中ですが、再開を求める声も多く聞かれます。



満天の星

夜空を埋め尽くす満天の星々は、人口衛星が肉眼で確認できるほどの美しさ。石見地方は、本州随一の観測地としても知られており、三瓶山の「島根県立三瓶自然館サヒメル」では、毎週土曜日に天体観察会が開催されています。



夏の風物詩

毎年恒例の夏祭り「ええなままつりかわも」とのフィナーレを飾る「江の川名物花火大会」は山間部ならではの臨場感が迫力満点。山々に響く轟音とともに夜空に大輪の花を咲かせる打ち上げ花火が、幻想的な雰囲気をつくり出します。



雪化粧の里山

毎年積雪が見込まれる川本町では、冬には美しい雪景色を眺めることができます。車で40分程のところにある「瑞穂ハイランド」は、西日本有数のゲレンデとして知られ、コース数も充実。初心者から上級者までスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを楽しめます。



江の川と三江線

JR三江線は全長約108km、広島県三次市と島根県江津市を結ぶJR西日本のローカル線で、全線のほとんどを一級河川「江の川」に沿って建設されました。沿線の雄大な景色は見るものを飽きさせない自然美を誇り、平成27年に全線開通40周年を記念して定められた「江の川鉄道」の愛称とともに、沿線住民や全国の多くの鉄道ファンに親しまれました。



写真提供/三江線活性化協議会

鉄道遺産として

廃線後の各沿線市町では、三江線を貴重な「鉄道遺産」として観光などに活かそうと様々な取り組みがなされています。川本町では、「旧石見川本駅」の駅舎で「島根中央信用金庫川本支店」が営業を行っています。また、待合室やホームを利用したワークショップやコンサートの開催、使われなくなった線路にレールバイクを走らせるイベント等を企画し、観光資源としての利活用に取り組んでいます。



ありがとう三江線

2018.3.31

廃線に揺れる町

日本一利用者が少ない鉄道として、幾度となく廃線の危機にさらされてきた三江線でしたが、平成28年9月、ついにJR西日本より鉄道事業の廃止届が提出され、平成30年4月1日をもって廃止されるのが正式に決定しました。廃止決定後は、その最期の勇姿を一目見ようと、全国から鉄道ファンが詰めかけ、連日多くの乗客で賑わいました。



三江線ラストラン

運行最終日には沿線各地で記念式典が行われ、多くの住民がその別れを惜しみながら最後の車両を見送りました。一部区間開通から約88年もの長きに渡り、沿線市町とともに歩んできた三江線の歴史に幕が降りた瞬間でした。国鉄時代を含め、路線距離が100kmを超える鉄道路線の全線廃止は、本州で初めての事例となりました。



目の字ラーメン橋

川本町内には志谷川橋梁と日向川橋梁の2つの「目の字ラーメン橋」が残存しています。米国から当時の先行研究論文を取り寄せるなどして設計されたこの橋は、昭和9年に建設されたにも関わらず、現在も大きく劣化することなく、その姿を留めています。手間を惜しまない当時の丁寧な施工の賜物である「目の字ラーメン橋」は、川本町の新たなインフラ観光スポットです。



三江線レールバイク

イベント開催時には「足漕ぎ式」と「エンジン式」2種類のレールバイクに乗車することができます。実際に列車が走っていた線路の上で運転士になった気分を味わえる新感覚「廃線アクティビティ」です。ペダル操作なしでターゲットにピタッと止める、世界でここだけの「レールバイクピタ止め世界選手権」も開催しています。



湯谷温泉 弥山荘

弥山荘は、山あいなたたずむ日帰り天然温泉施設です。この地は、かつて名立たる戦国武将らがその傷を癒やした湯治場であったと伝えられています。その効能は、擦り傷や関節の痛みを和らげるだけでなく、皮膚乾燥症等にも効果があるとされ、薬湯や信楽焼のつぼ湯が人気です。施設内の売店では、町内外の特産品を購入することができます。



川本町大字湯谷781-2 営業/10:00~20:00
⑧ 定休(祝日の場合は翌日)・大晦日
☎0855-72-2645 ※最終受付 19:00



宝重山 長江寺

かつてこの地を治めた石見小笠原氏の菩提寺である長江寺には、第12代小笠原長隆が、時の將軍足利義植から拝領したとされる珍宝「猿頭の玉枕」が納められており、この枕で眠ると「悪夢を喰らい、吉夢を見せる」と伝えられています。秋になると境内を埋め尽くす黄金色の銀杏の絨毯が、参拝客らを出迎えます。
(見頃/11月上旬)



⑧ 長江寺 川本町大字湯谷783
☎0855-72-1150



丸山城跡

丸山城は、天正13年(1585年)に当時の石見銀山の支配に深く関わったとされる石見小笠原氏の第15代小笠原長隆が築いた連郭式の中世山城です。標高482mの円山頂上部を主郭とする城郭は、本丸と西の丸を中心に10あまりの郭群で構成され、石見国としては非常に珍しい総石垣の城郭でした。現在は、石垣の跡などその僅かな面影を残すのみですが、雲海を望む絶景スポットとして知られています。



⑧ 川本町教育委員会(教育課文化振興係)
☎0855-72-0594



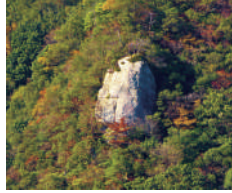
田植えばやし

かつてこの地を治めた石見小笠原氏が、築城の祝いと五穀豊穡を祈って始めたといわれる「小笠原近重流三原田植囃子」は、400年以上の歴史を持つ民俗芸能です。



米食い岩

町の中心部を見下ろす巨大な岩。名前の由来は諸説ありますが、米食い岩の伝説は、この地域に伝わる民話として、地元の人々に親しまれています。



江川太鼓

川本町を代表する郷土芸能団体である江川太鼓は、昭和47年の結成以来、「ドイツやデンマークなど、多数の海外公演も行っている和太鼓チームです。」



石州瓦

独特の赤褐色で知られる石州瓦は、400年の歴史を持つ日本三大瓦の一つ。山々の緑にやさしく調和する赤瓦の家並みは、この地方ならではの情景です。



金比羅山公園

満開時には山の斜面がピンクに染まる桜の名所として知られています。町を見下ろす小高い丘の上にある、頂上まで車で行くことができます。



弓ヶ峰ハ幡宮

天福元年(1233年)小笠原長親によって建立されました。境内には、「創天秤權記」の碑があり、この地がかつて「たたら製鉄」が盛んであったことを物語っています。



南佐木 正蓮寺

楼門の建立は、寛永4年(1751年)と伝えられ、石見三大門の一つと呼ばれています。境内にある経堂も貴重な建物で、ともに町の文化財に指定されています。



臨流山 仙岩寺

安土桃山時代に建立された仙岩寺城山の山腹にある曹洞宗のお寺。200段以上の石段を登って境内にたどり着くと、江の川と市街地が眼下に広がります。



石見神楽

古事記・日本書紀などの神話をもとにした演目で、迫力ある舞やお囃子が特徴の石見神楽。「神事」でありながら「芸能」としての要素も色濃く、重厚な舞の「六調子神楽」や軽快なリズムが特徴の「八調子神楽」など、川本町には複数の社中があり、お祭りやイベントなどで上演を行っています。特別出張のご依頼も可能です。(有料)



ご案内は、おまかせください!
川本町観光協会 ☎ 平日/9:00-17:00 (土・日・祝日定休)
 〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本608-1
☎ 0855-74-2345 **☎ 0855-74-2110**
 🌐 <https://kawamoto-kankou.jp>
 ✉ otoiawase@kawamoto-kankou.jp
 川本町観光協会



P.19 弓市商店街エリアマップ



ふれあい公園 笹遊里 ササユリ
 10〜15cmほどの薄いピンクの花には強い香りがあり、名前の由来となっている厚い葉はササの形に似ています。
 (開花/6月〜7月頃)



谷戸 イズモコバイモ
 絶滅危惧種にも指定されているユリ科の多年草。島根県だけに自生し、川本町の谷戸地区は、希少な群生地として知られています。



PICK UP EVENT

アウトドア イベント
 町内のキャンプ場を使用したワンデイキャンプイベントが開催されます。お気に入りのテントを持ち寄り、広い芝生の上で思いっきり遊び、大自然を満喫することができます。



PICK UP EVENT

子育てサークル イベント
 町内の子育てサークルによるイベントが定期的に開催されています。親子連れを対象とした川遊びやハロウィン行事、子ども服の交換会など子どもも大人も楽しめる内容です。



PICK UP EVENT

駅ヨガ
 廃線となった三江線跡地を活用したヨガ体験イベント。地元インストラクター指導のもと、遠く伸びる線路を眺めながらのヨガは、非日常を体感でき、健康はもちろんな心にも安らぎを与えてくれます。



市井原 ユキワリイチゲ
 日本固有種で、早春に20cm前後の花茎を立て、淡紫色の花(萼)をつけます。花言葉は「しあわせになる」。(開花/3月上旬〜4月上旬頃)



平成29年12月にオープンした手打ちそば屋さん。広々とした店内には座敷席もあり。高山蕎麦道場で修行したスタッフが、丹精込めて打った生そばを割子やざるで頂きます。温かいおそばには、自家製燻製炙り鮎を使用した出汁が絶妙にマッチ。皮にそば粉を練り込んだそば餃子も人気です。そば打ち体験やわんこそば、仕出し・弁当の予約も可能とのこと。

皆んな来た道 きたみち庵

川本町大字川本577 [MAP P.19](#)
 営業 11:00~14:00 (L.O. 14:00) ㊤ 定休
 ☎0855-72-0016 ※そばが無くなり次第終了



昭和40年創業。旧石見川本駅前の一等地で半世紀以上、町の盛衰を見守ってきた老舗のお寿司屋さんですが、現在はお寿司の取り扱いはありません。三江線への思い入れは深く、鉄道ファンの間では聖地のような場所となつています。おすすめの「鮎の塩焼き」と「うな重」は、店主自慢の逸品です。食後には、うれしいインスタントコーヒートのセルフサービスも。

新栄

川本町大字川本613-2 [MAP P.19](#)
 営業 11:00~14:00・17:00~21:00 ㊤・㊦ 定休
 ☎0855-72-0021



先代からお店を引き継いで約20年。古き良き時代の面影を店内に残す町内唯一のスナック店です。酸いも甘いも知り尽くしたマッサンと酌み交わす夜の味いは、まさにディープカワモト。地元の方々にとっては、お決まりの二次会の場でもあります。呑んで歌って羽目を外すもよし、カウンターでしっぽりやるもよし。毎月15日の飲み放題デーのほか、料金も柔軟にご対応頂けるそうです。

スナック 喫茶ボン

川本町大字川本571 [MAP P.19](#)
 営業 コーヒータイム 月・水・金 9:00~12:00 / カラオケタイム 月~土 13:00~15:00・19:00~24:00
 ㊤・㊦ 定休 ☎0855-72-0987



昭和8年創業。大衆酒場から始まり、現在は3代目のご主人が営む居酒屋さん。オススメは熊本から仕入れる新鮮な「馬刺し」で、これを目当てに来店するリピーターも多いそう。鶏肉のスープで煮込んだ「肉玉うどん」は常連客に愛される一品です。先代愛用のレトロなアルミ鍋でお楽しみください。各種アルコールも豊富でテーブルや座敷以外に個室もあり、ゆったりおくるぎ頂けます。

飯田食堂

川本町大字川本620 [MAP P.19](#)
 営業 18:00~23:00 (L.O. 22:30) ㊤・㊦ 定休 (不定休)
 ☎090-7756-5589



元気印の女将さんは、この店の3代目。創業はなんと昭和27年です。中華や洋食などバラエティーに富んだメニューは、どれもボリューム満点で、一番人気の「マジカルオムライス」は、遠方から訪れるファンもいるほど。限定販売のスイーツも評判で、中でも「えごまサブレ」は、日持ちもするので、町の新たなお土産品として人気です。月に一度、パスタの専門店「リストランテ ふくむら」に大変身します。

ふくむら食堂

川本町大字川本633-2 [MAP P.19](#)
 営業 ㊤~㊦ 12:00~14:00 ㊤・㊦ 定休
 ☎0855-72-0246 (FAX 兼用) ※夜は予約のみ



堀井金物店内に令和4年11月にオープンしたパン屋さん。イチオシは、手作りクリームぎつりの「クリームパン」と自家製タルタルたっぷりの「バトウフライのサンド」。サンドイッチや旬の食材を使ったデニッシュなど、ラインナップは日替わりで約30種類と豊富です。お問い合わせは、インスタグラムのダイレクトメッセージから。取り置きなどの相談も可能です。

堀井金物店内 とまり木 -パンとおやつ-

川本町大字川本623-8 (堀井金物店内) [MAP P.19](#)
 営業 ㊤・㊦ 10:00~17:00 (売り切れ次第終了)
 ㊤・㊦・㊧・㊨・㊩ 定休 ※毎月最終土曜は休み
 @tomarigi_pantooyatu





かわもとおとぎ館の本格レストラン。ランチは、自家製の窯焼きピザ、パスタからお選びください。ドリンク&フレッシュサラダもセットでお付け頂けます。事前予約制のデイナーは3種のコースにワインも選べる飲み放題メニューも。異国情緒溢れる店内で贅沢なお食事をお楽しみください。併設するプールを使つた光の演出に非日常を体感できる空間です。

かわもとおとぎ館
レストランおとぎ



川本町大字川本332-13 **MAP P.12** 営業 ⑨~⑫ 11:30~15:30<L.O. 15:00>/17:00~21:00 ⑩~⑫ 定休 ⑩ 0855-72-3080 ※夜は要予約(4名以上3日前)



広島で修行されたご主人。町内にいながら本場の味が愉しめるのとあって、家族連れにも人気の広島流お好み焼き屋さんです。創業以来変わらぬソースと麺は店主のこだわり。寡黙さと手際の良さに味への自信を覗かせます。大人数にも対応可能な座敷を備え、アルコールも充実。自家製ダレに漬けた込んだカルビやホルモンなどの鉄板焼きも人気です。

お好み・鉄板焼 かんちゃん



川本町大字川本541-6 **MAP P.19** 営業 11:30~14:00/17:00~21:00<L.O. 21:00予定> ⑩ 定休 ⑩ 0855-72-2456



道の駅館内にあるレストランですが、実はこの場所です。前から営業されていたとか。なるほど道の駅らしからぬ?メニューの豊富さ、お料理の美味しさにも頷けます。人気は「石見ポークの生姜焼き定食」と石見和牛の焼肉丼で、どちらもこの土地ならではの食材を活かした逸品。お昼時には、平日でも満席となる盛況。振りに道の駅の利用者だけでなく、地元の方にも支持されていることがうかがえます。

道の駅 インフォメーションセンターかわもと
レストランいんぷお



川本町大字因原505-5 **MAP P.12** 営業 11:00~19:00(冬季18:00)<L.O. 18:00 (冬季 17:00)> ⑩ 定休 (祝日の場合は翌日) ⑩ 0855-72-1111



地元町民御用達の大衆居酒屋。地域活動にも積極的な2代目店主の手柄を慕って、若者の姿も多く、初めて同士で酒を酌み交わすシーンもしばしば見られます。地元高校生らと共同開発したえごま丼と自家製チャーシューのラーメンが人気。組み合わせの定食もあり、早い時間帯には家族連れも多いとか。時間を気にせずゆっくり呑める、川本の深夜食堂です。

川本食堂



川本町大字川本541-3 **MAP P.19** 営業 ⑨~⑫ 12:00~13:00/⑨~⑫ 17:00~22:00 ⑩・⑫ 定休 ⑩ 0855-72-1370 ※土曜は夜のみ営業



道の駅「インフォメーションセンターかわもと」の店頭に令和3年3月、オープンした「Piccolusso」(ピッコルッソ)は、町内唯一のスイーツ専門店です。特産品の「えごま」を使った焼きたてアップルパイやこだわりの特製ジェラートが大人気。地元出身の有名パティシエが監修した絶品スイーツは、日々のご褒美やお土産にと幅広い年代のお客様に大変喜ばれています。

piccolusso



川本町大字因原505-5 **MAP P.12** 営業 10:00~16:00 ⑩ 定休 (祝日の場合は翌日) ⑩ 0855-74-2102



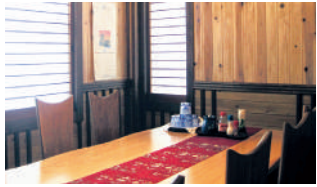
店名には「茶や」とありますが、食事のメニューが非常に充実したお食事処で、平日の日替定食が人気です。不定休ながら、日曜・祝日も営業していて、アルコール類も取り扱っていることから、地元単身者の食生活を支える貴重な存在。寡黙なマスターとそれに寄り添う奥さまの佇まいが素敵です。食事の後は、本格サイフォン珈琲(＋200円)でゆったりとしたひとときをどうぞ。

茶や春夏秋冬



川本町大字川本541-7 **MAP P.19** 営業 9:00~15:00 ⑩ 定休 ⑩ 0855-72-1452 ※夜は予約のみ





炬ばた焼き 末広

外観の印象とは違って、店内はしっかりとした和風のお店。ホッとする雰囲気と美味しい料理を味わえます。

川本町大字川本636-8
営業 17:00~22:00 ㊤・㊦・㊧ 定休
☎0855-72-0201



やきとり洋子

店主こだわりの芋焼酎2種と旨い焼き鳥各種をご賞味ください。

川本町大字川本541-1
営業 ㊤・㊦・㊧・㊨・㊩ 18:00~23:00
㊪・㊫ 18:00~22:00 ㊬ 定休
☎0855-72-1288



カラオケ えんか村 日の出

気さくなご夫婦が出迎えてくれるカラオケ専門店です。有名歌手が訪れることも。

川本町大字川本626-1
営業 13:00~17:00/19:00~22:00 ㊬ 定休
☎0855-72-0453 ※要電話予約



喫茶K

マスター自慢の自家製カレーがオススメ。落ち着いた店内でコーヒータイムをお楽しみください。

川本町大字川本543-2
営業 8:00~17:00 ㊬ 定休
☎0855-72-0596



味道園

オリジナルのタレが絶妙の味わいの老舗焼き肉店。「味道園定食」は、開店以来、多くの人に親しまれています。

川本町大字川本529
営業 11:00~21:00 不定休
☎0855-72-0046



カフェ・ドゥ・ソレイユ

ワンコインランチやスイーツ、ドリンク各種をご用意。様々な種類のカレーやパスタが楽しめます。

川本町大字川本617-9
営業 10:30~14:30 ㊤・㊦・㊧ 定休
☎0855-72-0013



湯谷温泉弥山荘の館内にあるレストラン。この道40年のシェフが栄養バランスにも気を使い、趣向を凝らしたメニューが頂けます。半年に一度のペースで手を加えるといういろいろどり御膳やえごまや石見ポークなどの特産品を使用したオリジナルメニューが人気です。湯上りの一杯やお食事だけのご利用も可。テーブル席のほか、広々とした座敷もご利用頂けます。

湯谷温泉 弥山荘 レストラン弥山荘

川本町大字湯谷781-2 [MAP P.13](#) 営業 11:00~14:00
(L.O. 13:45) / ㊤・㊦・㊧ 17:00~19:00 (L.O. 18:45)
㊬ 定休(祝日の場合は翌日)・大晦日 ☎0855-72-2645



今では町の特産品としてすっかり定着したエゴマを川本町に広めた「川本エゴマの会」の竹下さん夫婦が営む休日カフェ。奥さまの「エゴマのメニューをもって楽しんでほしい」という思いから、平成29年4月にオープンしました。エゴマの油や葉っぱを使った創作ランチやスイーツ、スムージーなどが愉しめるほか、えごま油の搾油体験なども申し込むことができます。



カフェ えごまの実

川本町大字三原150 [MAP P.13](#)
営業 予約のみ
☎0855-74-0607



ふれあい公園「笹遊里」の施設管理や学生寮の調理のほか、お餅やお寿司の製造も行っています。お餅は、毎週火・土曜日に道の駅/会下商店/Aコープかわもと/Yショップかないや/弥山荘で、お寿司は、毎週金曜日に道の駅/会下商店にてお買い求めいただけます。季節によって販売日等が異なりますので詳しくは、インスタグラムをご確認ください。

ふれあい公園 笹遊里内 キムラ農産

川本町大字川下3005-2 [MAP P.13](#)
営業 製造のみ
@kimura_no_san



弓市商店街エリアマップ



農家民泊 やんちゃんの家

山の中の一軒家で里山のひとときをのんびり過ごしてみませんか。離れの囲炉裏と炊事場で、時間を忘れてゆっくり田舎料理を作りましょう。自然栽培米、減農薬米を原料に清らかな山水で仕上げたどぶろくや甘酒も自慢です。

観光協会
会員店

川本町大字田窪487 [MAP P.13](#)

営業 12:00~13:00/17:00~21:00 不定休

☎0855-74-0086 ※要予約(7日前)



かわもとおとぎ館

自分だけの時間をゆっくりと楽しめる各部屋バルコニー付の宿泊施設です。お食事は、本格的なコース料理を楽しめるイタリアン。トレーニングジムや温水プール、セルフサロンなど館内設備も充実しています。

観光協会
会員店

川本町大字川本332-13 [MAP P.12](#)

チェックイン 16:00~/チェックアウト~10:00 不定休

サロン営業 9:45~18:00 ㊟ 定休 プール営業 10:00~20:00 (最終受付 19:30) ㊟ 定休 ☎0855-72-3080



その他の会員店

ベスト電器 BFS川本店

ストーブやエアコンなどの電化製品はもちろん、カメラや音響機器についても親身に相談に乗ってくれる、頼れる町の電気屋さんです。

川本町大字川本613-4 [MAP P.19](#)

営業 8:00~19:00/第3㊟ 定休 ☎0855-72-0144

POLA 川本

邑智郡で唯一のポーラショップ。季節毎のお肌の悩みに合わせた商品を取り揃えています。午後に来店を希望の場合は、事前にお電話にてご相談ください。

川本町大字川本537-9 [MAP P.19](#)

営業 9:00~12:00/㊟・㊞ 定休 ☎0855-72-0102

宇山勤市商店 ウェルネスクラブ

初心者の方も安心して参加できる運動教室。駅のホームや公園などでのヨガイベントも開催し、地域の美と健康を支えます。

川本町大字川本608-1 [MAP P.19](#) ☎0855-72-2526

カフェ Orange

中高生が地域と関わりながら活動を行う「かわもとあそラボ」の拠点です。コミュニティカフェとして限定ランチやコンサートにも利用されています。

川本町大字川本635-2 [MAP P.19](#) [@asolab.k](#)

江川漁業協同組合

江の川の水産資源を守るため、鮎の増殖・放流や遊漁券の販売、釣客への情報提供を行っています。地域のイベントで好評なのが鮎のつかみ取り。つかまえた鮎は塩焼きでお楽しみ頂けます。

川本町大字因原567-1 [MAP P.12](#) ☎0855-72-0055

ふれあい公園 笹遊里

ログハウス風のコテージにキャンプ、バーベキュー、グラウンドゴルフなどを満喫できる滞在型公園。春から夏にかけて、ササユリをはじめとした様々な種類のユリを観察できるほか、桜、紫陽花、ラベンダーなどの花々を楽しむことができます。

川本町大字川下3005-2 [MAP P.13](#)

営業 8:30~17:00 ㊟ 定休

☎0855-72-2450

観光協会
会員店



川本町のエゴマ

川本町といえば、なんといってもエゴマの栽培が有名です。その栽培品質は、「エゴマの聖地」と称されるにふさわしいブランド力を誇ります。エゴマの実を搾ってつくるエゴマ油は、普段使いや贈答用のほか、ふるさと納税の返礼品としても人気があり、TVメディアに度々取り上げられる希少価値の高い特産品です。

エゴマには、必須脂肪酸(オメガ3)のひとつであるαリノレン酸が豊富に含まれることから近年、健康食品として注目されています。エゴマの種子は、プチプチとした食感が好まれ、様々な加工食品と組み合わせ販売されています。



ばくとう 獺頭ビール

川本町のバケ

「悪夢を喰らい、吉夢を見せる」といわれ、中国から日本に伝わり、悪夢を祓うという霊獣として民衆の間に広まりました。時の権力者豊臣秀吉も愛用したとされる「獺の枕」は、古来より「悪夢を喰らい、吉夢を見せる」といわれ、小笠原長隆が室町幕府第10代将軍足利義植から拝領し、長江寺に納められている珍宝「獺頭の玉枕」は、当時としても大変貴重な縁起物だったと考えられています。



道の駅館内には、「獺頭の玉枕」の実物大レプリカのほか、様々な獺グッズが展示・販売されています。

その他の特産品



酒類 (清酒・甘酒・どぶろく)



ツガニ (もくずがに)



杵つき餅



唐辛子 (辛味とうがらし)



アユ (鮎の甘露煮)



エゴマ調味料

エゴマ油



エゴマ鴨

川本町産のエゴマを食べて育った栄養満点のえごま鴨は、鴨肉ならではの歯ごたえとジューシーな味わいが人気です。

エゴマふりかけ

煎りエゴマ

エゴマ茶

エゴマの若葉を乾燥させたエゴマ茶には、ロスマリン酸(ポリフェノール的一种)が豊富に含まれ、ハーブティーのような味わいが特徴です。

道の駅 インフォメーションセンターかわもと

国道261号線沿いにある道の駅「インフォメーションセンターかわもと」は、島根県下では22番目の道の駅です。30種類以上のエゴマ関連商品のほか、アユやツガニなどの特産品やスイーツなどのお土産品、酒類、町内外の新鮮野菜が揃います。

観光協会
会員店



川本えごちゃん

川本町大字因原505-5 **MAP P.12**
営業 8:00~19:00 (冬季18:00)
☎ 0855-72-1111 年末年始定休

島根県
川本町ふるさと納税
問い合わせ窓口：かわもとテレワークスペース OTO-LaVo ☎ 0855-74-2260

ご寄付は
各ポータルサイトから!!
ANAのふるさと納税 楽天ふるさと納税 ふるさとチョイス



ANAのふるさと納税 楽天ふるさと納税 ふるさとチョイス



発行元

川本町観光協会

〒696-0001

島根県邑智郡川本大字川本608-1

🌐 <https://kawamoto-kankou.jp>

☎ 0855-74-2345

📠 0855-74-2110

✉ otoiawase@kawamoto-kankou.jp

川本町観光協会

